

# 資源ごみ収集車が 住宅壁衝突

## 市の委託業者、サイドブレーキ不十分

- ギアが、「ドライブ」の状態
- サイドブレーキも十分にかかっていなかった
- 本来は前方と後方に付けるべき車輪止めの設置を怠っていた。

2018/8/23(木) 20:48

横浜市は23日、ごみ収集車が作業中、無人の状態ですり出し、民家の擁壁に衝突した、と発表した。けが人はいないという。

市資源循環局によると、同日午前10時40分ごろ、ごみ集積場所で、委託業者の70代の男性2人が、資源物（缶・びん・ペットボトル）の回収作業を行っている際、収集車が無人のまま前方に約3メートル走行。

民家の擁壁に衝突し、停止した。

ギアが「ドライブ」の状態、サイドブレーキも十分にかかっていなかったほか、本来は前方と後方に付けるべき車輪止めの設置を怠っていた。